

東京都のオープンデータに関する取組の全体像

都庁+区市町村のオール東京でオープンデータ化の好循環を更に促進し、データドリブン社会を実現します！

- ラウンドテーブル等により、オープンデータに関する民間ニーズを把握します
- データ棚卸し結果や民間ニーズを踏まえ、積極的に各局でオープンデータ化を推進します

オープンデータ活用による
サービス開発 (2021年～実施)



掲載
ファイル数 (東京都、区市町村)
約4万件 (2021年3月時点) → 約5.7万件 (2023年8月末時点)

新たなサービスを創出

民間企業
シビックテック等



好循環の積み重ねにより
オープンデータ化を更に促進

都民サービス



Quality
QOS向上
of Service

データドリブン社会を
実現！

積極的なデータ公開

- ・データ棚卸し結果や民間ニーズを踏まえ、積極的に各局がデータを公開
- ・ハッカソン実装サービスで使われたデータについて区市町村のオープンデータ公開を支援

行政機関 (東京都・
区市町村)



民間ニーズの把握



ラウンドテーブル
(2021～実施)



東京都オープンデータ
コミュニティ

東京都オープンデータ・ラウンドテーブル

開催目的

- データ活用を希望する民間企業等からのニーズを東京都が直接聴取することで、都をはじめとする行政のオープンデータ化の取組を推進
- 成功事例の創出によりオープンデータ化に対する都職員の意識改革を促進



第1回（令和3年2月）

- テーマを限定せずに実施
- 市民開発者や大学教授、民間企業から提案
- EVの点検情報や観光に関する調査報告書など、既に公開されているデータのCSV形式での公開を要望
- 令和3年4月下旬公開

第2回（令和3年10月）

- 環境分野をテーマに実施
- 民間企業や大学教授から提案
- ごみ排出量やPM2.5等の大気汚染データなど、これまで公開していないデータについて、オープンデータとしての公開を要望
- 令和4年3月に公開

開催実績

第3回（令和4年3月）

- 防災分野をテーマに実施
- 民間企業から提案
- 避難所や点群データなど、これまで公開していないデータについて、オープンデータとして公開を要望
- 令和4年4月に公開（点群データは、令和5年度公開予定）

第4回（令和4年8月）

- テーマを限定せずに実施
- 民間企業から提案
- これまで公開していないデータ及び公開済みデータについて、機械判読性の高いデータ形式での公開を要望
- 令和4年9月以降順次公開（緊急輸送道路データは、令和5年度公開予定）

第5回（令和5年2月）は、「特別意見交換編」として、データ利活用をテーマに学生とスタートアップ企業の交流イベントを実施

東京都オープンデータコミュニティ

事業概要

- ・ オープンデータ利用者同士のコミュニケーションや利用者と都との間の繋がりをさらに活性化させるため、令和5年5月、「東京都オープンデータコミュニティ」(Slack を用いたオンラインコミュニティ) を構築
- ・ オープンデータを利用する方など、どなたでも無償で参加可能



会員数・属性

計 162名※

会社員：104名 公務員：19名

学生：11名 自営業・フリーランス：9名 その他・未回答：19名

※8月末時点

本コミュニティ
への参加は
こちら



コミュニティターゲット

● オープンデータを利用する方

- ・ ODを活用したサービス開発に関心のある方
(エンジニア、デザイナー、学生等)
- ・ 行政課題の解決等に興味・関心のある方
- ・ ラウンドテーブル参加者
- ・ 都知事杯オープンデータ・ハッカソンの参加者

● ODに関心のある府内各局、区市町村職員

コミュニティ会員ができること

- ・ コミュニティ会員同士の情報共有や意見交換
 - ・ オープンデータ利活用事例の発信
 - ・ サービス開発メンバー募集
 - ・ コミュニティ会員イベントへの参加
 - ・ オープンデータやオープンデータ利活用に関する問い合わせ・提案
- など

都知事杯オープンデータ・ハッカソン2023

事業概要

- ・ オープンデータを活用し、行政課題の解決に向けたサービス提案を行うハッカソンを開催
- ・ 成功事例を積み上げることで、オープンデータに対する職員の意識改革も推進

シビックテック等との協働による新サービス創出

詳しくは
こちら



- ・社会実装部門（シビックテック、企業・団体）
- ・アイデア提案部門（新設）

Final Stageへの進出
社会実装部門：15チーム
アイデア提案部門：3チーム

